

あなたの大切な情報

ふりがな

氏名

男・女

明治・大正

昭和・平成

年月日 年齢 歳

連絡先

住所〒

電話番号

携帯番号

血液型 A・AB・B・O型 (Rh + -)

緊急連絡先

住所〒

電話番号

副作用/アレルギー歴（有・無）

お薬

花粉症

食べ物

主な既往歴

- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> アレルギー性疾患 | <input type="checkbox"/> 腎疾患 | <input type="checkbox"/> 高脂血症 | <input type="checkbox"/> 気管支喘息 |
| <input type="checkbox"/> 高血压 | <input type="checkbox"/> 緑内障 | <input type="checkbox"/> 肝疾患 | <input type="checkbox"/> 消化器疾患 |
| <input type="checkbox"/> 白内障 | <input type="checkbox"/> 心疾患 | <input type="checkbox"/> 糖尿病 | <input type="checkbox"/> その他() |

※詳細は医師、歯科医師、薬剤師に記入してもらってください。

お薬を安全にお使いいただくために、
「お薬手帳」をご活用ください

処方された薬の名前、飲み方、必要事項などを薬剤師が「おくすり手帳」に記録します。この記録により、医師・歯科医師・薬剤師が薬の重複や飲み合わせなどを確認し、安全に薬をお受け取りいただくことができます。また、災害時や旅先などでもお使いの薬をすぐに把握することができます。病院・歯科医院・薬局に行った際は、医師・歯科医師・薬剤師に毎回「おくすり手帳」をお渡しください。

こんなときに「お薬手帳」をお役立てください



複数の診療施設・科を受診するとき

どこの病院(科)から出ているお薬も一冊の手帳に記録しましょう。もし複数冊お持ちの方は、薬剤師に一冊にまとめてもらいましょう。

薬剤師がお薬の重複や相互作用をチェックします。

市販薬との飲み合わせのチェックに

自分で薬や健康食品を購入したときはその名前を手帳に記録しておきましょう。

薬剤師があなたのお薬と飲み合わせをチェックします。

医師に自分の薬について伝えるとき

受診するときは必ずお薬手帳を携帯しましょう。

医師はお薬手帳の内容からあなたの薬物治療についてより適切な判断をすることができます。

健康手帳として

検査値の記入欄やメモ欄を利用しましょう。

あなたの健康管理にお役立てください。



お薬アレルギーなどの事前防止に

過去に経験したアレルギーやお薬の副作用、今までにかかったことのある病気について記録しておきましょう。

薬剤師があなたにとって安全な薬かどうかチェックします。

使い方や記入方法でわからない点は薬剤師にお気軽にお尋ねください。

医療機関の方々へ

この「お薬手帳」は患者さんの薬の服用歴等を記録したものです。処方の際にご参考ください。また、医療機関で直接投薬されます場合には、処方等をご記入くださいますようお願い致します。

「医薬品副作用被害救済制度」をご存知ですか?

- この制度は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく公的制度です。
 - 医薬品を正しく使用したにもかかわらず、入院を必要とするなどの重篤な副作用が生じた場合には、医療費、医療手当、障害年金、遺族年金などの救済給付が行われます。
 - 制度の仕組みを解説したパンフレットや救済給付の請求に必要な請求書などは、医薬品医療機器総合機構に用意してあり、相談窓口に申し込めば無料で入手できます。



お問い合わせ

独立行政法人医薬品医療機器総合機構健康被害救済部
救済制度相談窓口 TEL0120-149-931(フリーダイヤル)
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞ヶ関ビル10F

お薬を飲む時間のめやす

食直前	食事のすぐ前	食間	食事の約2時間後位
食前	食事の30分前位	就寝前	寝る30分前位から寝るまでの間
食後	食事の30分後位	頓服	医師や薬剤師の指示に従って服用
食直後	食事のすぐ後		

朝食をとらない人など、食事の回数を減らしている方、食事制限などのある方やお薬を飲み忘れたときについては、薬剤師にご相談ください。

ジェネリック医薬品やお薬全般に関して医師・薬剤師に伝えたいことをご記入ください。
自分で市販のお薬を服用されている場合、ご記入ください。
他の薬局でお薬を処方されている場合、お薬手帳を一冊にしましょう。

臨床検査値の基準値

※検査方法により検査値が異なることがあります。※基準値の範囲はあくまでも目安となるものです。

検査項目	基準値の範囲	わかる病気の主なもの
赤血球数(RBC)	男性:450～610万/ μL 女性:380～530万/ μL	貧血、多血症
血色素量(Hb)	男性:13～18g/dL 女性:11～16g/dL	貧血
ヘマトクリット(Ht)	男性:40～54% 女性:35～47%	貧血、多血症
白血球数(WBC)	4000～10000/ μL	感染症、白血病等
血小板数(PLT)	15～40万/ μL	再生不良性貧血、 血小板減少性紫斑病等
総タンパク(TP)	6.7～8.3g/dL	慢性肝炎、肝硬変、 多発性骨髄腫等
アルブミン(A1b)	3.8～5.3g/dL	肝疾患、ネフローゼ症候群等
GOT(AST)	8～40 IU/L	急性肝炎、慢性肝炎等
GPT(ALT)	5～35 IU/L	急性肝炎、慢性肝炎等
γ -GTP	男性:50 IU/L以下 女性:30 IU/L以下	アルコール性肝障害、 胆道疾患等
アルカリ fos ファターゼ(ALP)	110～330U/L	肝炎、肝硬変、骨軟化症等
LDH	210～400U/L	急性肝炎、血液疾患等
総ビリルビン(TB)	0.2～1.2mg/dL	肝炎、肝硬変、胆石症、 溶血性貧血等
尿酸(UA)	男性:4.0～7.0mg/dL 女性:3.0～5.5mg/dL	高尿酸血症等
総コレステロール(TC)	120～220mg/dL	脂質異常症
中性脂肪(TG)	150mg/dL未満	脂質異常症
HDLコレステロール(HDL-C)	40mg/dL以上	脂質異常症
LDLコレステロール(LDL-C)	140mg/dL未満	脂質異常症
空腹時血糖(Glu)	70～110mg/dL	糖尿病等
ヘモグロビンA1c(HbA1c)	4.0～5.6%	糖尿病等
尿素窒素(BUN)	9～20mg/dL	腎機能障害等
クレアチニン(Cr)	男性:0.8～1.3mg/dL 女性:0.5～1.0mg/dL	腎機能障害等